

小須戸文化協会設立30周年

さらなる飛躍をめざして 地域に寄り添う文化活動を推進



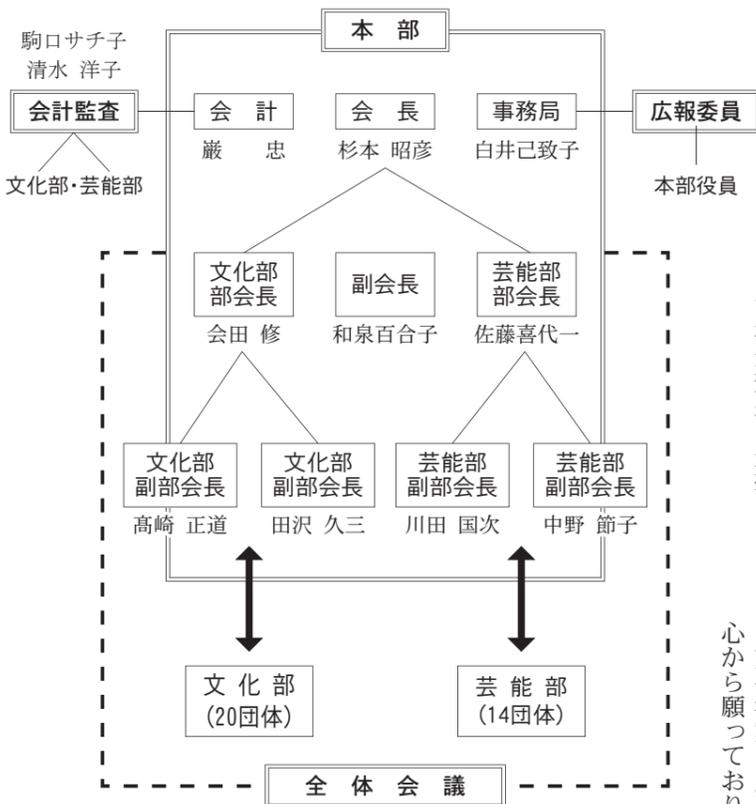
小須戸文化協会

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp
編集 公民館報編集委員会

小須戸文化協会組織図

(H30.4.1)



現在の小須戸文化協会が設立されたのは、1988年(昭和63年)で今年で設立30周年になります。
従来の組織を再編・拡大して38団体、会員700人の組織で発足したと、当時の「小須戸公民館報」に掲載されています。さらに、「文化協会」の活動のメリットとして



小須戸文化協会 会長 杉本 昭彦 さん

小須戸文化協会 設立30周年によせて

①文化協会に加盟する事により、個々の団体によってできなかった発表の場を持つことができること。
②大きな組織で活動を展開する事により町ぐるみの文化活動に発展する事が期待できること。
③他の組織団体との連携によって相乗効果を発揮し、よ

り大きな文化運動の推進力につながる。このような設立当初の文化協会の精神は今も引きつがれております。
今現在の小須戸文化協会は、34団体、会員400人ほどで活動していますが、会員の高齢化などにより加盟団体と会員数が減っていく傾向にあります。
小須戸まちづくりセンターを利用して活動されていて、文化協会に未加入の団体の皆様が文化協会に加盟され一緒に文化活動を展開できたらと心から願っております。

4月26日(木)、矢代田の「山勢」を会場に小須戸文化協会の平成30年度総会が開催されました。34の加盟団体から46名の会員が出席し、平成29年度事業報告・決算、平成30年度事業計画・予算、平成30年度役員について審議され、すべて承認されました。

「フェイスブック」ご覧ください!

小須戸地区公民館では、イベントや講座などの情報発信や、交流の幅を広げる手段としてFacebookの活用をしています。お手持ちのパソコンやスマートフォンで見ることが出来ます。Facebookにユーザー登録していない方も閲覧ができます。新潟市のホームページ→子育て教育→生涯学習 社会教育→公式Facebookページ→「小須戸地区公民館」です。ぜひご覧ください。

すよ「こ」と一言

「ツバメちゃん いらつしやい」

「バタバタ」朝、車庫に行ったら、ツバメが巣づくりを始めていました。私はびっくりと同時に嬉しくて思わず「ワオー」と叫んでしまいました。毎日何やかんやで忙しい生活の中、ツバメのつがいが一生涯懸命、巣づくりに頑張る様子を見て、



長沢加代子さん (横川浜)

「ホワァ」とあったかくなるのに気づきました。

思わず写真をバシバシ撮ってしまいました。しっかりとした寝床、本当にすごい。今、お腹の大きなツバメと一緒にいるツバメ。微笑ましくて、元気な赤ちゃんを産んでねと心から思いました。
家族って本当にいいなあと、つくづく感じさせられる出来事でした。ささやかな幸せに乾杯

「矢代田駅は花いっぱい」

五月晴れの5月11日、山の手コミ協環境部と小須戸中学校1年、矢代田小学校3年、小須戸幼稚園・矢代田保育園の園児による、地域と学校合同美化活動「第9回ふれあい花いっぱい運動」が矢代田駅で行われました。



朝早くからコミ協環境部の皆さんがプランターや土づくりの準備を行い、小須戸中1年は総合学習「チャレンジ」活動として、矢代田小3年は美化歩で沿道の清掃活動を行いながら会場に向かいました。
9時30分から舟戸公園で行われた開始式には、小須戸幼・矢代田保の園児も加わり、総勢200人の参加がありました。このあと地域のボランティアと子どもたちが楽しく会話を交わしながら三色のペゴニアの花植え作業を行い、出来あがった200個のプランターは駅周辺や主な施設に飾られ、「花と緑のまち」にふさわしく矢代田駅が花いっぱいになりました。



閉会式では、中川新津駅長から「駅の周りをきれいな花でいっぱいにしていただきありがとうございます」とお礼の言葉があり、花植えを通じた世代間の交流と、共同作業を行うことにより、子どもたちの協調性や創造力が育まれました。駅を訪れた利用者からは「駅がきれいな花に囲まれて気持ちがいい」と、感謝の言葉が聞かれました。

「文芸あきは」第12号 作品募集

- 募集作品
 - 一般の部：随筆、小説(戯曲、童話を含む)、詩、漢詩、短歌、俳句、川柳の7部門
 - 青春の部：随筆、小説(戯曲、童話を含む)、詩、漢詩、短歌、俳句、川柳の7部門
 - ※一人につき各部門1作品(2部門まで応募可)
 - ※青春の部の応募対象は中学生・高校生のみ
- 応募資格
 - 秋葉区に在住・在勤・在学・出身の方又は秋葉区内で活動中の団体に所属の方
- 投稿料
 - 投稿者1人につき1,500円(中学生・高校生は無料)
 - 投稿された方(中学生・高校生は除く)には、作品を収録した「文芸あきは第12号」を贈呈します。(10月下旬発刊予定)(投稿された中学生・高校生には各学校へ1冊、贈呈します)
- 応募方法
 - 応募票に必要事項を記入のうえ、投稿料を添えて直接ご持参ください。郵送の場合は、投稿料を専用振込用紙で納入後、応募票と作品をお送りください。(振込手数料は投稿者負担)
- 応募〆切 平成30年7月31日(火)必着
- 応募先
 - 956-0816 新潟市秋葉区新津東町2-5-6 新津地域学園内
 - 新津地区公民館 新津文芸協会事務局 (☎0250-22-9666)
- 主催
 - 新津文芸協会・新津地区公民館
 - ※応募票は小須戸地区公民館、新津地区公民館、新津地区市民会館、秋葉区役所等にありませう。
 - 詳細は、新津地区公民館までお問い合わせください。

大人としての自覚と責任をもって

～新成人の抱負～

平成30年度の秋葉区成人式が5月3日、秋葉区総合体育館で行われました。オープニングでは新津第一中学校合唱部の皆さんから記念合唱「あなたに出逢えたこの町でくいつのうた」が披露されました。式典では、新成人を代表して落合啓太さんから「大人としての自覚を持ち、自分の生き方や在り方に責任を持って、社会に貢献できるように一歩ずつ確実に歩いていきたい」と、力強く「新成人のことは」が述べられました。今年度の秋葉区内対象者は676人(昨年度は752人)で、そのうち小須戸地区は88人(111人)でした。この度、成人式を迎えられたお二人の方から、新成人の抱負を寄せていただきました。



成人の抱負
相田泰輔さん
(舟戸2)

今年、成人という人生の一つの節目を迎えました。無事成人を迎えることができたことをとても幸運に感じます。また、それは自分のふるさとである新潟市、小須戸町あつてこのものとも思っています。今まで支えてくださった皆様方、本当にありがとうございます。

私は今、名古屋にて法学を学んでいます。地元を離れ、そして成人を迎えて思うことは、故郷の町で育ったからこそ今の自分がいるということ。花と緑の町で育ったこと、挨拶を重んじる学校で育ったこと、はっきりと確かめることはできませんが、それら一つ一つが今の自分を形作っているように感じます。私の好きな室生犀星の詩に、「ふるさととは遠きとありて思ふもの、そして悲しく歌ふもの」というものがあります。たとえどれだけ遠くても、故郷が故郷であることに変わりはありません。これからの住もうと、その故郷への想いを忘れずに、立派な成人として生きていこうと思います。



成人を迎えて
種岡智子さん
(舟戸2)

私たちは成人を迎え、社会の一員として新たな一歩を踏み出しました。大人の仲間入りをした訳ですが、人生はまだまだ始まったばかりです。これからの人生は皆さんの希望と可能性に溢れていると思っています。

私は現在、大学に通い自分の小さい頃からの夢を叶えるために日々励んでいます。決して楽しいことばかりではありませんが、それでも着実に未来を切り開いています。そこではご年配の方と関わる機会がありますが、今までの人生を振り返る時、とても満足した様子で様々な経験を話してくださいました。私もいつかそのように人生を振り返った時、皆さんの経験を積み、楽しかったやりきったと思えるように自分の人生を自分らしく歩んでいきたいです。



キャンドルナイト

小須戸コミ協では10月13日(土)、環境省が呼びかけているCO₂削減イベント、キャンドルナイトを3年ぶりに実施するため現在、楽しいエコイベントを計画しています。家の電気を消して家族そろってまちづくりセンターに出かけてきてください。地域の皆さんで参加し、節電と環境問題に関心を持ちましょう。

イベント開催に先立って、「キャンドルナイトでこんなことをやって欲しい」という地域の皆様からのアイデアを募集しています。お気軽にまちづくりセンター事務室までアイデアをお持ち下さい。(6月末〆切)



参加者募集

タイチーダンス&太極拳

太極拳で身体と気功を整えて、タイチーダンスでリズムカルに体幹力をアップ!心と身体をじんわりとほぐしましょう。一度体験にお越しください。

“タイチー和(なごみ)”

- ◆毎週火曜日 PM7:30~8:30
- ◆会場 小須戸まちづくりセンター 3Fホール
- ◆月4回活動 会費 月3,000円
- ◆連絡先 0250-38-4000 武田まで

小須戸地区図書室新刊案内

- 【一般書】**
- ・まいにち哲学 (原田まりる)
 - ・自分でできる!身内が亡くなった時の手続・事前の備え (日本相続カウンセラー協会)
 - ・13歳からの経済のしくみ・ことば図鑑 (花岡幸子)
 - ・要介護シニアも大満足!3分間ちょこっとレク57 (斎藤道雄)
 - ・心臓の左上をさすればしっかり疲れはとれる (山岡愛)
- 【児童書】**
- ・えんぎがいい (雨宮尚子)
 - ・にやんにやん (せなけいこ)
 - ・ねんねのうた (えがらしみちこ)
 - ・森から海へ (さとうひろし)
 - ・みんなでたのしみまよいみち (安野光雅)
 - ・うちゅうひこうしになりたいな (パイロン・バートン)

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、6月25日(月)までに小須戸地区公民館へ。

俳句・川柳・短歌募集

<p>短歌</p> <p>花梨の木高枝 鈴で剪定し ちひさき花の蜂が蜜吸ふ 卒寿の吾にまだ大丈夫元気でと 新任の地へ孫は旅立つ うす紅に昼顔開く公園の こぼれる木漏れ日ゆるる中ゆく 母好きな梅花うつぎの白い花 匂い香りて命日近し</p>	<p>川柳</p> <p>四季の花競い合ってる花の街 春が来た山菜近所と分け合った 垣根越し笑顔と会話弾む日々 朝明けて隣のリズム良く響く 野の花に今日の孤独を救えられ 少子化に鯉の泳がぬ空が増え</p>	<p>俳句</p> <p>句友上田スミイさんの御逝去を悼み 句を愛し花を愛して散るさくら 歌ひつつ夏鶯の旅立ちぬ 春耕や越後平野の甦る 雨やんで緑はなやぐ雑木山 糸柳弥彦山角田山を透し見る 萩焼に都わすれがよく似合ふ 終活も手つかずのまま春の服 のっそりと昏れざる空に春の月 春の月大河の水面薄明り 名刹の参詣帰り春の月</p>
<p>玲 泉 高橋キヨ 吉田まつえ こみけ</p>	<p>信子 保科志枝 会田修 増井都留 能登としお</p>	<p>馬場綾子 中野太浪 吉澤文子 丸山紀子 熊倉ひろむ 佐久間久子 本多玲子 間野えり 吉田松子 風間幸子</p>

文芸欄

矢代田小学校4年生と一緒にふれあい会館の花植え

環境部20名と矢代田小学校の4年生43名が『地域と学校ふれあい事業』で、5月22日(火)に、ふれあい会館の花壇やプランターに花植えをしました。みんなで力を合わせて、マリーゴールドや百日草など4種類、約1,000ポットを上手に植えてくれました。プランターに植えた花は、小須戸交番やひまわりクラブにも設置されました。

今後、生育を観察しながら押し花にしてメッセージカードと共に、10月の敬老会の出席者にプレゼントしてくれる予定です。



山の手コミュニケーション協議会

新潟薬科大学 薬学部学生による「健康・自立セミナー」

昨年好評だった新潟薬科大学の学生による「健康・自立セミナー」を今年も開催します。どの回も申込不要です。お気軽にご参加ください。

第1回	6月16日(土)	「くも膜下出血と不整脈」
第2回	9月15日(土)	「胆のう炎と腸閉塞」
第3回	10月20日(土)	「外反母趾と膝関節痛」
第4回	12月1日(土)	「肺結核と膀胱炎」
第5回	31年2月23日(土)	「脂質異常と高血圧症」
第6回	未定	「糖尿病と熱中症」

※時間と会場は各回とも午前10時から11時30分、小須戸まちづくりセンターです。



小須戸コミュニケーション協議会